

令和7年7月22日
この世界を歩くとき、

ゆるしについて考えてみてください。

～ あなたが与えるものはすべてあなた自身に与えられます ～

あなたには、他の人たちはあなたから離れて存在しており、あなたの思いには何の影響を受けることもなく、あるいはあなたの思いによって影響を受けることもなく、行動できるように思われます。したがって、あなたの態度は彼らに何の影響も及ぼすことはなく、彼らの助けを求める訴えはいかなる意味でもあなた自身の助けを求める訴えとは関係していません。そのうえ、あなたは、彼らはあなた自身についてのあなたの知覚に影響を与えることなく、霊的な罪を犯すことができると考えています。一方、あなたは彼らの霊的な罪を価値判断することができ、しかしが
5
10
ら、あなたは霊的な罪による有罪判決を免れたままであり、安らかにしていることができると考えています。

あなたが霊的な罪を“ゆるす”とき、直接的にはあなたが得るものは何もありません。あなたはその価値がない人に施しを与えますが、それは単に、あなたがゆるす相手よりもあなたの方が優れていて高い所にいるということを指摘するためです。
15
彼はあなたの慈悲深い寛容を獲得するだけのことはしていないからなのですが、あなたはこの慈悲深い寛容を贈り物に値しない人に与えます。なぜなら、彼の罪はあなたの真の平等性よりも低い所に彼を貶めたからです。彼にはあなたのゆるしを受ける権利はありません。あなたのゆるしは彼に一つの贈り物を差し出しますが、あなた自身に対しては何の贈り物も差し出しません。



きたむらとしふみ 1978年 東京都出身。喜びと安らぎだけで生きることを決めて10年。その経験から滲み出る人との関わり方への筆致には定評があり、「ゆるし」という人間の内面にある深層を、独自の視点で探究し、静かに言葉にしています。